

豊島区長
高野 之夫



豊島区立中央図書館報

創刊号/隔月刊

2007

と しょ か ん つ う し ん 図書館通信

劇場と一体となって文化・情報を発信

豊島区が目指す新たな地域再生の方向として、「文化を基軸としたまっすぐり」を掲げ、その取り組みを進めてまいりました。

文化政策を進めることで、街全体に文化芸術に親しむ機会と環境が広がり、魅力ある情報を発信します。文化から生まれる豊かな環境と情報が、人を元気にし、街の価値を高めていきます。その第1歩として、待望の「新中央図書館」がオープンいたしました。

池袋副都心の中心で、サンシャインシティの隣、東京メトロ東池袋駅に直結し、

大変地の利の良い条件に恵まれ、区民の皆さまや在勤在学の皆さまはもとより、近県からも大勢の方々にお越しいただけます。

また、公共図書館としては、5月にオープンした千代田図書館に次いで、平日夜10時までの開館、月2回だけの休館という、利用者の立場に立った運営を行います。

さらに、9月にオープンする2・3階の「あうるすぽっと」(舞台芸術交流センター)と一体となって、文化芸術の創造と情報発信の拠点を目指す図書館で

あり、これは他の図書館に見られない当館の最大の特徴です。ともに、単なる公共サービス施設ではなく、新たな価値を創造し、発信し続ける拠点となるよう、ソフトの充実に取り組みでまいります。図書館と劇場の結合により、これまでになく書物や芸術の素晴らしき出会いの場が生まれること確信しています。

区内の他の地域図書館とともに、末永くご利用いただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

発行 ● 豊島区立中央図書館
東京都豊島区東池袋四一五一一
ライズアリーナビル4階 〒113-0844
電話 ● 03-3983-7861
FAX ● 03-3983-9904
ホームページ ● <http://www.library.toshima.tokyo.jp>
発行日 ● 平成19年7月14日

トピックス

- 新中央図書館オープン・・・1ページ
- 地域研究セミナー開講・・・3ページ
- 新中央図書館開館記念講演会・・・4ページ

図書館と劇場が一体となった文化発信・地域活性化のコア 新中央図書館

新中央図書館は、レファレンスサービスの充実やIT化による効率的な運営に加え、地域にゆかりの文化・芸術の紹介、劇場「あうるすぽっと」と連携した演劇や講演会に関する資料の展示など、地域の文化情報を発信していきます。

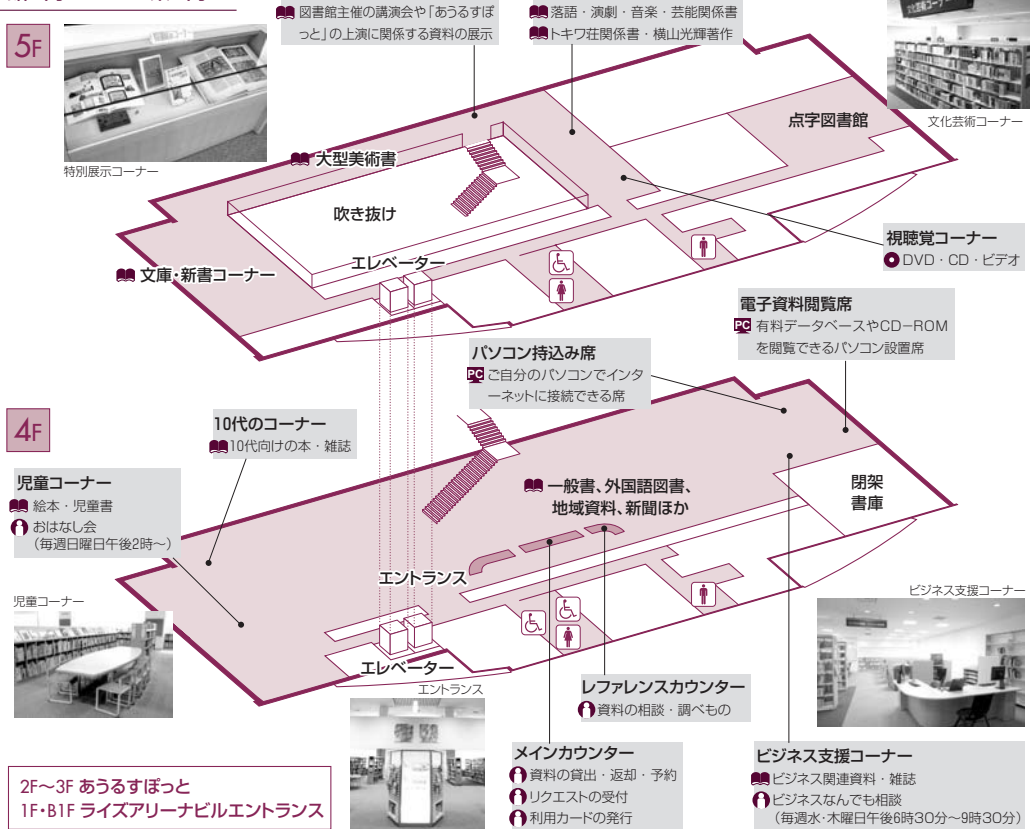
ご利用案内



豊島区立中央図書館

- 所在地
〒170-8442
豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル4・5階
TEL 03-3983-7861 FAX 03-3983-9904
- 交通アクセス
東京メトロ有楽町線
「東池袋駅」6・7出口より直結
JR線・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線
「池袋駅」東口よりグリーン大通り直直徒歩8分
- 開館時間
平日(月曜～金曜) 午前10時～午後10時
土曜・日曜・祝日 午前10時～午後6時
- 休館日
第2月曜日/第4金曜日
年末・年始(12月28日～1月4日)
特別整理期間

館内のご案内



2F～3F あうるすぽっと
1F・B1F ライズアリーナビルエントランス

施設のデータ/床面積3,065.47㎡、蔵書収容数25万6千冊(オープン時資料 22万点)、閲覧席208席、自動貸出機5台、利用者用検索機12台

企画競争の時代

粕谷一希



豊島区図書館行政政策顧問 粕谷 一希
(かすや かずき)
昭和5年生。評論家。東京大学文学部卒業。元「中央公論」編集長。平成15年(社)日経調査問題調査プロジェクト委員長就任。著書に『戦後思潮』『作家が死ぬ時代が変わる』、『戦後日本と雑誌ジャーナリズム』など。豊島区在住。

豊島区図書館行政政策顧問 図書館における文化政策発信の方策など図書館行政全般について、助言・指導をしていただくため、豊島区図書館行政政策顧問を設置しています。粕谷氏は平成18年1月より顧問に就任されています。

「これからの東京は、23区の企画競争の時代になると思っています」

と語ったのは、文京区の顧問でもある榎山絃一氏である。氏は西洋史学の学究であると同時に、生まれたときからの文京区民、花田清輝の家の隣家に住んでいる。

9月11日、中央図書館の開館記念講演会に際し、古代エジプトのアクサンドリア図書館について語ってもらう。小沢昭一氏の落語断と合わせて、開館にふさわしい企画となることだろう。平成の豊島が江戸の落語を継承しようとするのも楽しいし、古代エジプトに想像力を飛躍させるのも夢がふくらむ。

東京は大きすぎて、実際は都市連合体だ。地域の基礎自治体はもっと細やかに濃密に観察しなければ、その実相も多様性もわからない。企画競争は未開拓の話題や課題をわれわれに突きつけることだろう。

ところで、これまでの人生を編集という仕事一筋でやってきた私が、この歳になつて(77歳)図書館に興味を持ち出した経緯について、簡単に語っておきたい。

戦後の私の学生時代は、昭和20年代の書物の欠乏時代、飢饉に襲われたように、書物を探し求め、買い求めた。中央公論社に入社して以降は、出版の好況期で高度成長の波に乗り、新書、文庫、全集とどの企画も成功し、自然に自分の書棚も膨らんでいった。

しかし、週刊誌時代、テレビ時代の到来でながい構造不況の時代がやってきた。一部のベストセラーを除き、よい本が売れなくなっていた。あるとき、某ベストセラー作家の作品が百冊購入されたという事実が話題となった。図書館来館者のニーズがあるからだという。しかし、それは、「貸本屋の仕事ではないのか」という疑問が湧いた。

出版業界の低迷と図書館の在り方には、なんらかの関連があるのではないかと。私のジャーナリストとしての勤が、そうした予感をもたせたのである。ただ、予感だけでは仕方ない。私は、自分もそのメンバーになつて、日経調というシンクタンクの幹部に頼んで、図書館の共同研究をやらせてもらえないかと頼みこみ、私の自由によらせてもらうことになった。

私は親しくしている編集者と大学図書館に勤める若手の四人のチームで、一年にわたる共同研究を行なった。国会図書館、大学図書館、公共(自治体)図書館、金沢文庫など、いずれも全員で現場を訪ね、担当者のお話を聞きながら、問題意識を深め、問題の所在を確認していった。

豊島区長の高野之夫さんとその共同研究の報告書を手渡したのは、偶然のことである。その偶然が豊島区の図書館との関わりを発端である。高野さんは、もと古本屋として、書物に口として関わりをもち、文化創造都市宣言をした文化政策重視を明言している首長

である。この際、地元の地域社会への貢献も、私の晩年の仕事にふさわしいかもしれない。

これからの図書館は書物の貸し出しサービスだけではなく、書物への愛情を育む場所であり、書物を仲介として、図書館員も来館者も化学反応を起し、真の読書人になる場所ではないならぬ。

そしてこれからの読書人は故郷不在のデラシネ(根無し草)ではなく、地域社会の歴史と地理への理解を深め、未来文化、未来社会の創造に役立つアドヴァイザーでなくてはならない。

日本は本来、多神教、八百万の神々の国である。古くから、儒教、仏教、道教などへの熱心な受容国であり、近世、近代にはキリスト教に対しても曇りない受容者であり、日本的な古典文化の受容と継承を通して創造力を発揮してきた。また近代化のための政治革命、産業革命による産業の高度化でも優等生であり先進国の仲間入りをしていく。

日本文化は人類古典の共有化の面でも、先進技術のコンピュータ革命という先端技術の面でも、すぐれた適応能力を示している。いまや、地域が世界に直接つながる時代であり、地域が国家の在り方をリードする時代になっている。豊島区という二十六万人の自治体の中に、二十世紀の可能性を試してみる絶好の舞台なのである。

『あうるすぽっと』 柿 落とし 公演 ご案内

9月10日 中央図書館と同じビル内に劇場『あうるすぽっと』がオープンします。

『あうるすぽっと』では、演劇4演目を柿落とし公演として上演します。テーマは「愛」「人生」「家族」「死生観」・・・劇場を静かな感動で包みます。

ミュージカル 「ハロルド&モード」

9月20日(木)～9月30日(日)
出演 大方斐紗子 三浦涼介 旺なつき 杉村理加 立川三貴
チケット 一般：5,500円 区民割引：5,200円
チケット発売中

海と日傘

10月30日(火)～11月11日(日)
出演 竹下景子 平田満 ほか
チケット 一般：5,000円 区民割引：4,700円
チケット発売中



ミュージカル「ハロルド&モード」に出演のハロルド(三浦涼介:写真右)とモード(大方斐紗子:写真左)自殺ごっこを繰り返す青年と、老いてなお青春真っ盛りの老婦人が繰り広げるユニークな恋の物語。

駅・ターミナル

10月4日(木)～10月14日(日)
出演 外山誠二 久世星佳 村上博 金子由之 林次樹 本田次布 岩下まき子 ほか
チケット 一般：5,000円 区民割引：4,700円
前売開始：7月23日(月)

朱雀家の滅亡

12月4日(火)～12月16日(日)
出演 佐久間良子 中嶋しゅう 窪塚俊介 森田彩華 金田龍之介
チケット 一般：7,000円 区民割引：6,500円
前売開始：9月15日(土)

チケットお問い合わせ

◇一般チケット
ぶけいすチケットセンター 03-5468-8113 (11:00～18:00 発売開始日以外は平日のみ)
「駅・ターミナル」のみ 山山事務所 03-5958-0855

◇区民割引・としま未来友の会割引
としまみらいチケットセンター 03-3590-5321 (豊島区民センター2階)
※区民割引は窓口で証明書を提示してください。

上演についてのお問い合わせ

あうるすぽっと 電話03-5391-0751
あうるすぽっとホームページ
<http://www.owlspot.jp/>

豊島区図書館専門研究員による 地域研究ゼミナール開講 に寄せて

“あの人”と会話したい

伊藤 榮洪

「地域研究ゼミナール」では、今回は雑司が谷霊園に眠る人々を中心に、その人々の人物像を、歴史と業績を背景にして立体的に取り上げていく。

区内には、雑司が谷、染井と二つの都立霊園があり、そこには時代、文化を創り出した多くの先賢が眠っている。それは、もの言わぬ冷たい墓石ではない。彼らは、いまも雄弁に自らの生をさまざまに語りかけているのだ。その言葉を聞き取りたい。

例えば成島柳北（なるしま りゅうほく）、幕府侍講の成島樵堂の養子で、「柳橋新話」の著者……というように、インターネットでも検索できる。でも、それだけでは柳北の言葉は聞こえてこない。

柳北は明治維新を幕臣として、「破れたる者」として迎える。彼の仕えた十五代将軍慶喜が大政奉還をしたのは、彼の三十三歳のとき。彼はその時点で、自らの人生を捨て、「無用の人」として生きようと覚悟する。新政府の招きを拒否し、「朝野新聞」を興し、投獄もされる。この「無用の人」の生き方を追慕したが、同じ霊園に眠る水井荷風。二人は今日の無惨を大いに嘆いていることだろう。二人に交わされる言葉は、二人の著作の中に拾える。二人の著作、資料を図書館を通じて活用する。

この「無用の人」は、福沢諭吉の言う「やせがまん」の人たちだろう。その承諾につながる人々として開明派の岩瀬忠震、小栗忠順らを並べることが出来るし、霊園以外だが、「蚕社の獄」事件ともかかわるだろう。蚕社の獄は、果敢で、渡辺崋山を中心にした高僧会の事件である。

また、「無用の人」の流れで、武林夢想庵の「成さざるは食はずといふあなかしこ何を成してか武林くへる」と哄笑する声も聞こえるし、サトウ・ハチローの生をそこに重ねることもできる。

漱石、抱月……会話したい人ばかりだが、あなたにとつて会話したい人はだれですか。



豊島区図書館専門研究員

伊藤 榮洪 (いとう えいこう)

昭和7年生。早稲田大学文学部卒業。公立中高教員、私立大学講師を経て、現在は私立高校教員。著書・共著に『豊島区史跡散歩』『豊島区風土記』『東京都風土記』『愛とロマンの世界』など多数。

地域研究ゼミナール 受講生募集

豊島区に関係の深いテーマについて、図書館の資料を活用し学びながら、自分の研究テーマを探すゼミナールを開講します。

第一弾は「豊島区をめぐる群像」
—雑司が谷霊園に眠る人々を中心に—

講師	伊藤榮洪 (いとう えいこう) 氏
日程	全5回 第1回 9月26日 (水) 「雑司が谷霊園」の概観と人物相関 第2回 10月24日 (水) フィールド・ワーク「雑司が谷霊園」 第3回 11月21日 (水) 幕末～明治初期の群像 第4回 11月28日 (水) 明治～大正の群像 第5回 20年1月23日 (水) 昭和の群像、研究テーマの決定 いずれも午前10時～12時
会場	中央図書館会議室
費用	500円 (フィールド・ワーク傷害保険料、資料代) ※会場への交通費、フィールド・ワークの交通費等は各自負担です。
募集	30名 ゼミナールの受講を希望される方は、4ページの申し込み方法をご覧ください。



豊島区図書館専門研究員

尾崎 真人 (おざき しんじん)

昭和27年生。早稲田大学大学院修士了。京都市美術館学芸課長。「日本の前衛美術」を研究。池袋モンパルナス関連は「東京の落書き—長谷川利行と小堀康雄」『アリエ村栗原の作家たち』など。池袋モンパルナス学ワークショップを企画。

記録の知・記憶の知、 —或いは、なぜ今「池袋モンパルナス」なのか—

尾崎 真人

地域という「磁場」の上で、複雑な生活空間と創造意識が衝突することになれば、文化資源は生まれてこなかった。

作家や、作家を知る人々が語り継ぐあいたは、記憶として文化資源は語り継がれるだろう。しかし記憶は正しく、当時を語り、さらに作品の意味を伝えてくれるのだろうか。

近年「池袋モンパルナス」の彫刻家の記録を悉皆調査したら100名を超える人々があった。誰がそれだけの規模を予測できたのだろうか。記憶だけでは全体の人数と作家情報は判明しなかっただろう。しかし記録だけでは、作家の琴線に触れることは難しい。作品を前にしなければ、感動は湧き起こらない。作家の生き様を知ること、作品の理解は助けられる。私たちは記憶と記録の両者の知が

なければ、作家と作品の関係を知ることができない。そして作品が無ければ、作家を感じることはできない。

そして大切なことは、作家の名前を残すことではなく、作家が何をしたか、つまり作家の作品には、どのような想いがあつたのか、どのような表現が試みられたのかを作品とおしきりすることである。こうしたモノと情報を繋いで「記録と記憶」を体系化することが文化資源活用である。「記録と記憶」の体系化は、ヨーロッパの様式史で作った近代美術史や官展の美術史、そしてロダム・スムでは見えない、もう一つの美術の流れをみせてくれる。「池袋モンパルナス」はまさにヨーロッパの美術様式が生みだされた後の、反官展系として在野美術団体が噴出したところである。

美術を教養欲しいなら、作品集の写真や解説書を受けたい。作家の作品を実際にみたいなら、全国に散らばっているゆかりの美術館を訪ねればよい。しかし「記録と記憶」の相互浸透する知の扉を開けて、「池袋モンパルナス」の地を訪ねてみよう、作家に触れんとする者は、作品に命を与えんとする者は。



豊島区図書館専門研究員

水谷 千尋 (みずたに ちひろ)

昭和12年生。東京大学農学部卒業。昭和興学習研究社教員図書出版社長・編集長を経て、興学習社代表取締役社長。退任後、(社)日経調図書問題調査プロジェクト(池袋研究会)委員就任。平成17年豊島区立新中央図書館有識者懇話会提言書別紙提言「文化創造都市・豊島区と文化空間の創造」を執筆。

中央図書館新館「落語文化空間」 発足にちなんで —豊島区と落語文化—

水谷 千尋

新中央図書館基本方針のひとつに落語文化の研究と関連図書・録音資料収集があります。この分野で既に都内23区立図書館のトップクラス、1900点を誇る図書・CDが収集されています。冊数の多さを誇るではありません。豊島区には落語の歴史の由縁のテーマがあり、今後このテーマを来館者の皆さんと共に探究していきたいと考えています。

来る9月11日、小沢昭一さんが「あうるすぽろ」と劇場開館記念講演を致します。小沢さんの恩師は、三遊亭圓朝や寄席話芸の研究者、作家正岡容(るる)です。かつて大塚の三業地に住んでいました。昭和19年戦争最中、正岡は大塚の寄席鈴木で第一級の噺家を集め「落語文化向上会」を毎月開き、寄席文化の灯火を照らし続けました。その頃、大東文化学院学生が正岡宅表札を見て戸を叩き弟子入りし、後に上方落語人間

国宝桂米朝となります。昭和20年春、大塚・池袋一帯を米軍B29が爆撃、正岡も鈴木も焼け出されました。

正岡は、近代落語の祖、圓朝を生誕敬愛して研究を続け、小説「圓朝」を世に出し、弟子たちにも、圓朝を生誕探究せよ、と教え込んでいました。小沢さんのお話に、圓朝や正岡の思い出が語られることでしょう。

もうひとつの因縁、当区高田、面影橋近く、真言宗豊山派南蔵院は、圓朝の名作怪談「乳房怪」の舞台です。圓朝は、なぜこのお寺を舞台に選んだのか、面影橋伝説を含め、この土地に係る歴史物語も研究テーマのひとつです。圓朝は、幕末安政年間、二十歳の頃、目白の初鳥亭で怪談噺を演じ、大入りしたとの逸聞があります。

昨秋、森まゆみ作「圓朝さんま」、今春は辻原著作「圓朝芝居夫婦幽霊」が出版、今年8月には中田秀夫監督映画「怪談」公開と、圓朝もの話題作が日白押しです。「圓朝は、千代で傑作を生んだ。モーツァルトのような天才」と中田監督は語っています。天才は後世の才能に強い創作刺激を放射し、新しい時代の作品を孵化させます。

豊島区には多くの噺家が住んでおり、落語文化研究の格好の舞台です。皆さまと落語の面白さ奥深さを探究していきます。

新中央図書館 開館記念講演会へご招待 平成19年9月11日(火) 会場「あうるすぽっと」

図書館からの
お知らせ



昼の部 午後2時～3時30分
「**知の蔵を開く**」
—古代アレクサンドリア図書館から豊島区まで—

印刷博物館館長
樺山 紘一氏
かばやま こういち

プロフィール
昭和16年生。西洋中世史、西洋文化史を専攻。平成2年東京大学教授、東京大学名誉教授。国立西洋美術館館長を経て、印刷博物館館長。著書に『西洋学事始』『ヨーロッパの出現』『異境の発見』『地中海—人と町の肖像』など多数。

夜の部 午後6時30分～8時
「**三遊亭圓朝と正岡容**」



俳優・民衆芸能研究家
小沢 昭一氏
おざわ しょういち

プロフィール
昭和4年生。早稲田大学卒業。昭和26年俳優座公演で初舞台。しゃぼん玉座主宰。新劇、映画、テレビ、ラジオ、著作活動と幅広く活躍。ラジオ『小沢昭一の小沢昭一のことろ』は放送35年目。著書に『ものがたり・芸能と社会』『老いらくの花』など多数。

募集280名 講演会の受講をご希望される方は、下記の申し込み方法をご覧ください。

図書館イベント情報

◆**児童・あかちゃんおはなし会** 毎週、本の読み聞かせなどイベントを行っています。遊びに来てくださいね。

主催/会場	おはなし会開催日		スペシャル イベント	
	幼児・小学生	あかちゃん	7月	8月
中央図書館/多目的スペース	日曜日 2時	準備中	★22日・おはなし会 オープン記念スペシャル 2時	★5日・おはなし会 夏休みスペシャル 2時 ★26日・夏休みこさく会 2時
駒込図書館(駒込地域文化創造館)	土曜日 3時	—	★21日・おはなしのはこえいがかい 2時30分	★4日・18日 おはなしのはこ ころさくかい 3時
巣鴨図書館/地下会議室	水曜日 3時	最終水曜日 11時	★25日・ほんのじかんこさくかい 3時 “本のふくろをつくろう”	★1日・ほんのじかん “スライムをつくろう” 3時 ★8日・おはなしかいスペシャル 3時 ★29日・すがもこどもえいがかい 3時
上池袋図書館/おはなしのへや (※印は地下ホール)	水曜日 3時	最終水曜日 11時 ※	★25日・さくらんぼえいがかい 3時※	★1日・さくらんぼこさくかい 3時※ ★8日・さくらんぼえいがかい 3時※ ★22日・おはなしかいスペシャル 3時※ ★29日・さくらんぼえいがかい 3時
池袋図書館/ワークルーム	土曜日 2時	—	★28日・たんぼぼえいがかい 2時	★25日・たんぼぼえいがかい 2時
目白図書館/地下区民集会室 (8月のおはなし会は児童室)	水曜日 3時	第1水曜日 11時	★25日・めじろこどもシアター 3時	★1日・めじろこどもシアター 3時
千早図書館/視聴覚室	水曜日 3時30分	水曜日 10時30分	★25日・ほんとこおはなしかいスペシャル 3時30分	★15日・ほんとこおはなしかいスペシャル 3時30分

※日程・会場等が変更になることがあります。事前にお問合せください。

◆特集 "平和について考えよう"

期間 7月28日(土)～8月23日(木)

期間中各図書館では「平和」をテーマにした書籍を展示します。
また、上池袋図書館では、8月8日(水)3時から、映画『トビウオのぼうやとびょうきです』『ヒロシマのうた』を上映、千早図書館では、8月15日(水)3時30分からおはなし会『戦争を知ろう』を開催します。

◆千早進歩自由夢

教育考「**体験的教育論**」

講師：小野重典氏

7月21日(土) 10時 千早図書館へ直接お越しください。

各地域図書館の連絡先

- 駒込図書館 3940-5751 □上池袋図書館 3940-1779 □目白図書館 3950-7121
- 巣鴨図書館 3910-3608 □池袋図書館 3985-7981 □千早図書館 3955-8361

各種申し込み方法

編集後記

創刊号ができてと喜ぶ間もなく、第2号(9月発行予定)の編集に取り掛かるという慌しさ。
次号からはまたの話題やおすそめの本などを掲載した情報紙にします。11月の講演会の詳細情報も載せたいのでぜひ読んでください。(原)

『ビジネスなんでも相談』を実施

創業をお考えの方や事業継承、経営についての悩みに図書館の資料を活用しながら中小企業診断士が応じます。

- 【実施日】 7月18日(水)から毎週水曜日と木曜日
- 【時間】 午後6時30分～午後9時30分
- 【会場】 中央図書館 ビジネス支援コーナー
- 相談の申し込みは当日直接会場ですが、電話予約も可能です。
- 【電話予約】 生活産業課商工政策係 電話 03-5992-7089

『創業者支援講座』の受講生募集

創業の心構えから会社設立までの実務の学習とケーススタディによるビジネスプランの作成など <全6回>

- 【日時】 第1回：9月16日(日)午前10時から午後3時 第4回：9月29日(土)午前10時から午後5時
- 第2回：9月22日(土)午前10時から午後3時 第5回：9月30日(日)午前10時から午後5時
- 第3回：9月23日(日)午前10時から午後3時 第6回：10月6日(土)午前10時から午後5時
- 【会場】 中央図書館会議室
- 【受講料】 2,000円
- 【募集人数】 30名
- 【実施主体】 特定非営利活動法人としま創業ネットワーク
- 【共催】 豊島区文化商工部生活産業課
- 【申込み・問合せ】 電話・ファックス・Eメールで豊島区文化商工部生活産業課商工政策係へ
電話：03-5992-7089 / FAX：03-5992-7088 / Eメールアドレス A0014205@city.toshima.lg.jp

※申し込み方法は2種類です。
※ひとつの行事に重複して応募された場合、2枚目以降は無効です。
※応募者多数の場合は抽選となりますので予めご了承ください。

- 1 往復はがきに①～⑤を記入し、下記送付先へお送りください。
(はがき1枚につき1件の申込みをお願いします。)
 - ① ご希望の講演名・セミナー名
「樺山紘一氏講演会」 } はがき1枚で2名まで
「小沢昭一氏講演会」 } (「1名」または「2名」希望と明記してください)
「地域研究セミナー雑誌が谷豊園」
 - ② 郵便番号
 - ③ 住所
 - ④ 氏名(ふりがな)
 - ⑤ 電話番号
 - ⑥ 申込期限 平成19年8月24日(金) 消印有効
- 送付先：〒170-8442 豊島区東池袋4-5-2ライズアリーナビル5階
中央図書館 企画調整担当
- 2 電子申請でも受け付けます。
豊島区ホームページアドレス <http://www.city.toshima.tokyo.jp>
申込期限 平成19年8月24日(金) 中